

【都市計画の現況と課題】

I. 都市計画の現況

【人口】

- ・令和 2 年における本町及び都市計画区域の総人口は 10,296 人であり、平成 27 年と比較して 6.9%減少している。人口減少の要因は、少子化の影響をうけ自然増が停滞していることに加え、転入者数が減少しているためである。将来の人口推計値も令和 32 年には 5,586 人まで減少していると同時に、少子高齢化が続いている。

【産業】

- ・就業者数（常住地）は 5,871 人、就業率は総人口の 57.0%で、その半数が周辺市町村に流出しており、流入数を大きく上回っている。産業大分類別にみると第 3 次産業の就業者の割合が最も高く、近年は増加傾向である。
- ・工業出荷額は年々増加傾向にあり、将来の出荷額推計も増加すると予測される。一方で商業販売額は近年大きな変動はないものの、将来販売額推計は減少傾向にある。

【土地利用】

- ・行政区域全体の 80.9%は自然的土地利用であり、特に山林が 44.7%と最も多く、次いで農地の 27.6%となっている。
- ・しなの鉄道牟礼駅、国道沿いの中心地や福井団地、扇平団地等の住宅主体の市街地と、区域全体に広がる農用地に囲まれた居住環境とが調和した土地利用がされている。「飯綱町環境基本条例」、「飯綱町自然環境保全条例」等により、自然環境保全の観点から開発行為の秩序を保つ施策が展開されている。

【建物】

- ・都市計画区域における過去 5 年間の新築件数は 198 件であり、そのうち住宅が 96.0%で大半を占めている。

【交通】

- ・利用者の減少が著しかった路線バスについて、2 村合併により路線範囲が広域化したことを活用し、平成 19 年 10 月より定時定路線運行とデマンド交通を組み合わせた i（アイ）バスの運行を開始した。利用者の希望によりナイトワゴンの運行を開始するなど、きめ細かい住民サービスを実現させている。
- ・路線バスで旅客と貨物を一緒に運ぶ「貨客混載バス」を平成 29 年 10 月 1 日より開始した。貨客混載バスは県内初の新しい運輸のあり方で、利用が減少するバス路線牟礼線の維持存続、収益改善を図るものである。

【地価】

- ・経済情勢の影響を受け、5 ヶ所の地価調査地点全てにおいて下落傾向となっている。

Ⅱ. 都市計画の課題

- 恵まれた自然環境や里山・田園風景は本町の大きな資産である。この豊かな自然環境を守りながら、利便性の向上など住環境を整えるなど、引き続き自然との調和を図った土地利用の誘導を求めている。
- 近年、気候変動に伴う、自然災害の頻発化・激甚化が顕著になっているなか、防災施設の充実・周知など災害に備え、すべての人が安心して過ごせる都市空間を形成するための取り組みが必要である。また市街地や観光地周辺においては、公共施設のバリアフリー化を進め、障害者や高齢者が不利を受けることなく、やさしい安全・安心なまちづくりに努めている。
- 少子・高齢化の進行、社会情勢の変化に柔軟に対応し、ひとりひとりがまちづくりに参加することで誇りと愛着を持てる仕組みを確立し、長く安住できる都市を目指す必要がある。

飯綱町都市計画基礎調査報告書

発行日	令和 7 年 3 月
発 行	長野県上水内郡飯綱町
編 集	飯綱町役場 建設水道課
	〒389-1293 長野県上水内郡飯綱町大字牟礼 2795-1
	TEL026-253-4766 FAX026-253-6869
